

授業科目名	開講年度	担当教員名	学年	開講期	単位数	必・選
英語V	平成23年度	大蔵 香代子	5	通年	学修単位 2	必

[授業のねらい]

英語 I, II, III, IV で得た英語の知識技能を活用して, 理工系分野の英文を読み進めながら, より高度な英語のリーディング能力を養うことを目指す。また、広い視野と、的確に情報を受信・発信する基礎力を養うことをねらいとする

[授業の内容]

すべての内容は、学習・教育目標 (A) <視野> <意欲> 及び (C) <英語>, および JABEE 基準 1 (1) (a), (f) の項目に相当する。

前期

第1週 Introduction 授業の概要について

Safety Rules (1)

第2週 Safety Rules (2)

第3週 Recipe (1)

第4週 Recipe (2)

第5週 Product Specifications (1)

第6週 Product Specifications (2)

第7週 Instruction Manual (1)

第8週 Instruction Manual (2)

第9週 中間試験

第10週 試験の復習

Laboratory Manual 1: Background (1)

第11週 Laboratory Manual 1: Background (2)

第12週 Laboratory Manual 2: Background (1)

第13週 Laboratory Manual 2: Background (2)

第14週 Q&A Facts (1)

第15週 Q&A Facts (2)

後期

第1週 Science Feature Article (1)

第2週 Science Feature Article (2)

第3週 Meeting Announcement (1)

第4週 Meeting Announcement (2)

第5週 Company Website (1)

第6週 Company Website (2)

第7週 Curriculum Vitae (1)

第8週 Curriculum Vitae (2)

第9週 中間試験

第10週 Call for Papers (1)

第11週 Call for Papers (2)

第12週 Registration Form (1)

第13週 Registration Form (2)

第14週 Email (1)

第15週 Email (2)

授業科目名	開講年度	担当教員名	学年	開講期	単位数	必・選
英語Ⅴ（つづき）	平成23年度	大蔵 香代子	5	通年	学修単位2	必

<p>[この授業で習得する「知識・能力」]</p> <p>1. 各回において取り上げられる英文の内容を理解できる。</p> <p>2. 各回の英文の流れをつかみ、要点を正確に理解できる。</p> <p>3. 読んだ英文の内容に関する設問に答えることができる。</p>	<p>4. 各回の英文に出てくる単語・熟語の意味および慣用表現が理解できる。</p> <p>5. 各回の英文に含まれる語法、英語表現を応用して基本的な英文を作ることができる。</p>
<p>[この授業の達成目標]</p> <p>英文の内容を理解し、その概要を把握でき、使用されている語彙や慣用表現を理解し、それらのうち基本的なものをを用いることができる。</p>	<p>[達成目標の評価方法と基準]</p> <p>「知識・能力」1～5の確認を中間試験、期末試験、小テスト、課題により評価する。1～5に関する重みはほぼ同じである。合計点の60%の得点で、目標の達成を確認できるレベルの試験を課す。</p>
<p>[注意事項]</p> <p>毎回の授業分の予習をしたうえで、積極的に授業に参加すること。授業には必ず英和辞典（電子辞書でも可）を用意すること。</p>	
<p>[あらかじめ要求される基礎知識の範囲]</p> <p>4年次までに学習した英単語、熟語、英文法の知識。</p>	
<p>[レポート等]</p> <p>授業に関連した小テスト及び課題(レポート等)を課す。</p>	
<p>教科書： Essential Genres in SciTech English （金星堂）</p> <p>理工系学生のための必修英単語3300（成美堂）</p> <p>参考書： 高校総合英語 Harvest （桐原書店）</p>	
<p>[学業成績の評価方法および評価基準]</p> <p>前期中間・前期末・後期中間・学年末の試験結果を80%、小テストや課題の評価を20%として、それぞれの学期毎に評価し、これらの平均値を最終評価とする。但し、学年末試験を除く3回の試験について60点に達していない学生については再試験を行う場合があり、再試験の成績が該当する期間の成績を上回った場合には、60点を上限としてそれぞれの期間の成績を再試験の成績で置き換えるものとする。</p> <p>[単位修得要件]</p> <p>学業成績で60点以上を取得すること。</p>	

授業科目名	開講年度	担当教員名	学年	開講期	単位数	必・選
実用英語 I	平成 2 3 年度	Mike Lawson	5	前期	学修単位 1	選

<p>[授業の目標]</p> <p>Basing class activities on various cross-cultural themes, the objective of this course is to improve students' practical levels of reading comprehension and English writing ability.</p>	
<p>[授業の内容] The following content conforms to the learning and educational goals: (A) <Perspective> [JABEE Standard 1(1)(a)], and (C) <English> [JABEE Standard 1(1)f].</p> <p>Week:</p> <p>1 Introduction to the course: Course structure discussed. 2 Unit 1- Student days: Reading exercises from the text. 3 Unit 2- Studying abroad: Reading exercises from the text. 4 Unit 3- Alternative education: Reading exercises from the text. 5 Unit 4- Talking through problems: Reading exercises from the text. 6 Unit 6- That's our custom: Reading exercises from the text. 7 REVIEW: Review for Exam 1 8 MIDTERM EXAM: This exam tests objective "1" listed in the syllabus: "Develop a practical level of reading comprehension."</p>	<p>Week:</p> <p>09 Unit 7- Musical memories: Reading exercises from the text. 10 Unit 8- Getting to the top: Reading exercises from the text. 11 Unit 9- Simply amazing: Reading exercises from the text. 12 Unit 10- What makes you happy?: Reading exercises from the text. 13 Unit 11- Help yourself to health: Reading exercises from the text. 14 Unit 12- Think positive!: Reading exercises from the text. 15 REVIEW: Review for exam 2</p>
<p>[この授業で習得する「知識・能力」]</p> <p>1. Students will improve their practical level of reading comprehension and their English writing ability.</p>	<p>2. Students will develop their reading comprehension and writing skills from a cross-cultural context, with an emphasis on Western culture. Concepts covered will include: "Student days", "Studying abroad", "Alternative education", "Talking through problems" "International cultural customs", "Musical memories", and "Thinking positively".</p>
<p>[この授業の達成目標]</p> <p>Students can improve their practical levels of English reading comprehension and English writing ability.</p>	<p>[達成目標の評価方法と基準]</p> <p>Students' levels of practical reading comprehension will be evaluated through the use of two exams (a midterm and exam and a final exam) and 10 reading comprehension exercises. Students' English writing ability will be evaluated through the use of 10 writing assignments. Students will have attained the goals provided that they have earned 60% of the total points possible for this course, which includes 2 exams, 10 essay assignments and 10 reading comprehension homework assignments</p>
<p>[注意事項]</p> <p>Please visit my website (http://www-intra.srv.cc.suzuka-ct.ac.jp/genl/Lawson/) for information related to this class. Please visit ITO Akira's Internet website "English-Muscle" at http://www-intra.srv.cc.suzuka-ct.ac.jp/engcom/ for fun English-learning activities. You may contact me at: lawson@genl.suzuka-ct.ac.jp,</p>	
<p>[あらかじめ要求される基礎知識の範囲]</p> <p>A good command of basic English syntax; a practical level of reading and listening comprehension, and some ability to converse in English.</p>	
<p>[自己学習] Students are required to submit 10 homework assignments (These homework assignments test objective "1" listed in syllabus: "Develop a practical level of reading comprehension") and 10 essays (These writing assignments test objective "2" listed in the syllabus: "Improve their English writing ability"). The total time necessary for students to acquire an understanding of the course is 45 hours, including classroom time and study time outside of the classroom.</p>	
<p>教科書:</p> <p>1. Text: Craven, Miles. <i>Reading Keys (Silver, Book A)</i>. Macmillan Languagehouse. 2003. 2. Subtext: A Japanese-English dictionary and an English grammar guide. 3. Material as distributed in class.</p>	
<p>[学業成績の評価方法および評価基準]</p> <p>Grades will be based on the following percentages: 25% Midterm exam, 25% Final Exam, 25% Essays, 25% Homework.</p> <p>[単位修得要件]</p> <p>Students must obtain at least 60% of the total possible points in order to receive 1 credit.</p>	

授業科目名	開講年度	担当教員名	学年	開講期	単位数	必・選
社会学 I	平成 23 年度	竹野富之	5	前期	学修単位 1	選

[授業のねらい]

グローバル化に適応・対応できるよう異文化理解の重要性を認識させ、違いを受け入れる姿勢を養う。そのために様々な分野から社会人類学の背景や歴史の流れを説明し日本とも比較しながら考察する。

[授業の内容]

全体の週において、教育目標 (A) (視野) (意欲) と、JABEE I (1) (a) 項目に該当する内容を講義する。

- 第 1 週 社会人類学とは何か I ヨーロッパ植民地獲得競争と人類学
 第 2 週 社会人類学とは何か 2 人類学者の研究姿勢について
 第 3 週 社会人類学とは何か 3 オリエンタリズム批判と人類学
 第 4 週 社会人類学の研究方法について フィールドワークとは何か
 第 5 週 フィールドワークに実践方法 1 調査の前に準備すること
 第 6 週 フィールドワークに実践方法 2 質問票作りとインタビュー
 第 7 週 マレーシアのイスラーム 1 マレーシアの紹介
 第 8 週 中間試験

- 第 9 週 マレーシアのイスラーム 2 イスラームの基本的な教養について
 第 10 週 マレーシアのイスラーム 3 イスラーム共同体ウンマとは何か
 11 週 マレーシアのイスラーム 4 マレーシアの女性とイスラーム
 第 12 週 マレーシアのイスラーム 5 マレーシアの姦通罪と女性
 第 13 週 日本人とイスラーム 1 少数派としてのイスラーム教徒
 第 14 週 日本人とイスラーム 1 イスラーム教徒として日本に暮らすこと
 第 15 週 まとめ 日本の国際化と社会人類学の重要性について考える

[この授業で習得する「知識・能力」]

- 現在の社会人類学の元となる背景を理解している。
- それぞれの文化のかたち・特色を知っている。
- 文化研究の方法論を知っている。
- 各の文化の源である宗教の影響を理解している。

[この授業の達成目標]

言語の重要性を認識し、欧米諸国の背景や歴史を踏まえ、それぞれの文化の具体的な形を理解している。

[達成目標の評価方法と基準]

上記の[知識・能力] 1～4 を網羅した問題を各定期試験とレポートで出題し、目標の達成度を評価する。達成度評価における各[知識・能力]の重みの目安は 1, 2, 4 を 30%, 3 を 10% とする。合計点 60% の得点で、目標の達成を確認できるレベルの試験を課す。

[注意事項] 授業中適宜に課題を与え、レポートを提出してもらう。

[あらかじめ要求される基礎知識の範囲] 特になし。

[自己学習]

授業で保証する学習時間と予習・復習 (中間試験と定期試験のための学習も含む) 及び課題・レポート作成に必要な標準的な学習時間の総計が 45 時間に相当する学習内容である。

教科書：なし

参考書：適宜紹介

[学業成績の評価方法および評価基準]

前期中間、前期末の 2 回の試験の平均点を 70%, 課題 (レポート) 30% として評価する。

[単位修得要件]

与えられたレポートを提出し、学業成績で 60 点以上を取得すること。

授業科目名	開講年度	担当教員名	学年	開講期	単位数	必・選
中国語 I	平成23年度	川西 笑華 孫 婉芬	5	前期	学修単位 1	選

[授業のねらい] 近年多くの企業が中国に進出し、英語に次ぐ外国語として、中国語の重要性も増してきている。正確な発音・基本的な文法を習得することにより、中国語による初歩的なコミュニケーションができることを目指す。

[授業の内容] 全ての週の内容は、学習・教育目標 (A) <視野> および JABEE 基準 1(1) (a) の項目に相当する。

第1週 第1週 中国とは? 中国語とは? 簡体字 発音記号
 第2週 ①発音 声調、母音 (単母音・複母音)
 第3週 ②発音 n と ng 子音 (有気音・無気音)
 第4週 ③発音 子音 (そり舌音・zi, ci, si の音)
 第5週 ④発音 音韻表 声調変化
 第6週 発音実践練習 数 年月日 時間 年齢 金銭
 第7週 簡単なあいさつと自己紹介
 第8週 前期中間試験

第9週 第1課 述語が形容詞の文 否定と疑問
 第10週 第1課 練習 会話
 第11週 第2課 述語が動詞の文 疑問詞疑問文
 第12週 第2課 練習 会話
 第13週 第3課 “是” と所有の “有” 反復疑問文
 第14週 第3課 練習 会話
 第15週 まとめと復習

[この授業で習得する「知識・能力」]

- 1 ピンイン表記を見て発音することができる。
- 2 基本的な単語を聞き取ることができる。
- 3 自分の名前を中国語で発音できる。
- 4 簡単なあいさつの会話ができる。

- 5 基本的な文型 (形容詞述語文, 動詞述語文, “是” と 所有の “有” の文) が理解し、運用できる。
- 6 疑問文・否定文が理解し、運用できる。

[この授業の達成目標]

中国語の発音表記の仕組みを理解しつつ、1つ1つの音をきちんと発音することができ、また聞き取ることができると同時に、基本的な語順を理解し、簡単な文を作ることができる。

[達成目標の評価方法と評価基準]

[この授業で習得する「知識・能力」] 1～6 の習得の割合を中間試験, 期末試験, 口答試験により評価する。各項目の重みは同じである。試験問題のレベルは、100点法により60点以上の得点を取得した場合に目標を達成したことが確認できるように設定する。

[注意事項] 教科書付属のCDを繰り返し聞き、発音練習をする事。

[あらかじめ要求される基礎知識の範囲]

[自己学習]

授業で保証する学習時間と、予習・復習 (中間試験, 定期試験 口答試験) に必要な標準的な学習時間の総計が、45時間に相当する学習内容である。

教科書: 中国語 縁日はとてもにぎやか (郁文堂) 及び配布プリント

参考書: 授業時, 随時紹介する。

[学業成績の評価方法および評価基準] 中間・期末の試験結果を80%, 口答試験の結果を20%として、これらの平均値を最終評価とする。再試験は原則として行わない。

[単位修得要件] 与えられた課題, 提出物を全て提出し, 学業成績で60点以上を取得すること。

授業科目名	開講年度	担当教員名	学年	開講期	単位数	必・選
実用英語Ⅱ	平成23年度	Mike Lawson	5	後期	学修単位1	選

[授業のねらい]

Basing class activities on various cross-cultural themes, the objective of this course is to improve students' practical levels of reading comprehension and their English writing ability.

[授業の内容]

The following content conforms to the learning and educational goals: (A) <Perspective>[JABEE Standard 1(1)(a)], and (C) <English>[JABEE Standard 1(1)f].

Week:

- 1 Introduction to the course: Course structure discussed.
- 2 Unit 13- The business of beauty: Reading exercises from the text.
- 3 Unit 14- A career in fashion: Reading exercises from the text.
- 4 Unit 15- The pressure to look good: Reading exercises from the text.
- 5 Unit 17- Fight for your rights: Reading exercises from the text.
- 6 Unit 18- Staying young: Reading exercises from the text.
- 7 REVIEW: Review for Exam 1

Week:

- 8 MIDTERM: Exam 1: This exam tests objective "1" listed in the syllabus: "Develop a practical level of reading comprehension."
- 9 Unit 19- Seeing the world: Reading exercises from the text.
- 10 Unit 20- Time for a vacation: Reading exercises from the text.
- 11 Unit 21- Great explorers: Reading exercises from the text.
- 12 Unit 22- Male and female roles: Reading exercises from the text.
- 13 Unit 23- Women fighting back: Reading exercises from the text.
- 14 Unit 24- How different are we?: Reading exercises from the text.
- 15 REVIEW: Review for Exam 2

[この授業で習得する「知識・能力」]

Students will:

1. Improve their practical level of reading comprehension and their English writing ability.

2. Students will develop their reading comprehension and writing skills from a cross-cultural context, with an emphasis on Western culture. Concepts covered will include: "The business of beauty", "A career in fashion", "The pressure to look good", "Fight for your rights", "Staying young", "Seeing the world", "Time for a vacation", "Great explorers", "Male and female roles", "Women fighting back", and "How different are we?"

[この授業の達成目標]

Students can improve their practical levels of English reading comprehension and their English writing ability.

[達成目標の評価方法と基準]

Students' levels of practical reading comprehension will be evaluated through the use of two exams (a midterm and exam and a final exam) and 10 reading comprehension exercises. Students' English writing ability will be evaluated through the use of 10 writing assignments. Students will have attained the goals provided that they have earned 60% of the total points possible for this course, which includes 2 exams, 10 essay assignments and 10 reading comprehension homework assignments

[注意事項]

Please visit my website (<http://www-intra.srv.cc.suzuka-ct.ac.jp/genl/Lawson/>) for information related to this class. Please visit ITO Akira's Internet website "English-Muscle" at <http://www-intra.srv.cc.suzuka-ct.ac.jp/engcom/> for fun English-learning activities.

You may contact me at any time at either of the two following email address: lawson@genl.suzuka-ct.ac.jp.

[あらかじめ要求される基礎知識の範囲]

A good command of basic English syntax; a practical level of reading and listening comprehension, and some ability to converse in English.

[自己学習] Students are required to submit 10 homework assignments (These homework assignments test objective "1" listed in syllabus: "Develop a practical level of reading comprehension") and 10 essays (These writing assignments test objective "2" listed in the syllabus: "Improve their English writing ability"). The total time necessary for students to acquire an understanding of the course is 45 hours, including classroom time and study time outside of the classroom.

教科書: Craven, Miles. *Reading Keys (Silver, Book B)*. Macmillan Languagehouse. 2003.

参考書: Material as distributed in class. A Japanese-English dictionary and an English grammar guide.

[学業成績の評価方法および評価基準]

Students' levels of practical reading comprehension and English writing ability will be evaluated through 2 exams, 10 essay assignments and 10 reading comprehension assignments. Grades will be based on the following percentages: Midterm Exam, 25% Final Exam, 25% Homework, 25% Essays.

[単位修得要件]

Students must obtain at least 60% of the total possible points in order to receive 1 credit.

授業科目名	開講年度	担当教員名	学年	開講期	単位数	必・選
社会学Ⅱ	平成23年度	前島訓子	5	後期	学修単位 1	選

[授業のねらい] 「産業」の発展は、私達の生活や生活を取り巻く社会にどのような影響を及ぼしてきたのだろうか。この授業では、「産業」の発展をひとつの軸としながら、消費者である私達や私達が生活している社会がどのような変化を経験し、その中でどのような問題が顕在化し、またそれらの問題がどのように取り上げられ、議論がなされているのかを、いくつかのトピックを通して取り上げていく。

[授業の内容]

第1週 産業化と社会 1—大量生産・消費の展開

第2週 産業化と社会 2—時間の管理

第3週 産業化と社会 3—フォーマル組織とインフォーマル組織

第4週 産業と労働 1—労働環境の変化

第5週 産業と労働 2—フレキシブルな労働と不安定雇用

第6週 情報と消費 1—消費文化

第7週 情報と消費 2—情報社会の社会的影響

第8週 中間試験

第9週 産業と都市 1—産業化と都市化

第10週 産業と都市 2—日本の都市景観

第11週 産業と地域社会 1—外国人労働

第12週 産業と地域社会 2—衰退する地域と地域活性化

第13週 産業と環境 1—産業化と環境問題

第14週 産業と環境 2—技術と環境

第15週 産業と環境 3—リスク

[この授業で習得する「知識・能力」]

1. 産業化と産業化が私達の社会に及ぼした影響を、時間や組織の観点から理解できる。
2. 産業化による人々の労働や労働環境の変化を理解できる。
3. 情報化が私達の生活に果たしている役割とそのメリット、デメリットが理解できる。

4. 産業化と都市化の関係とそれをめぐる日本の都市景観が抱える問題を理解できる。
5. 産業構造の変化にともない、地域社会に生じている問題と問題をめぐる動きについて理解できる。
6. 産業化が環境に及ぼした影響とそれに対する社会の対応が理解できる。

[この授業の達成目標]

「産業化」をめぐり生じた労働や労働を取り巻く社会の変化、情報化といった新たな時代が直面している諸問題、そしてそれらの現象がもたらした都市や地域、環境への影響について、様々な角度から捉え、考えることができること。

[達成目標の評価方法と基準]

「知識・能力」1～6を網羅した問題を中間試験と定期試験で出題して目標の達成度を評価する。また、試験以外に、授業内において課す小レポート課題等を通して、授業への積極的な参加と講義内容の理解、習得状況を評価する。

[注意事項] 授業時に数回の小レポートを課す。

[あらかじめ要求される基礎知識の範囲] 普段何気なく生活していることや、また自分たちの周りに生じている様々な問題や出来事に関心を向け、疑問をもっておく。

[自己学習] 授業内での講義を手がかりとしながら、普段の生活や自身の周囲で生じている出来事を、単なる出来事として済ませてしまうのではなく、さまざまな角度から考えることが求められる。

教科書： 特に指定しない。授業時に適宜、資料を配布する。

[学業成績の評価方法および評価基準]

中間試験と定期試験(期末試験)の結果を80%、授業時に課す小レポートを20%として評価する。

[単位修得要件]

中間試験と定期試験で60点以上取得すること。

授業科目名	開講年度	担当教員名	学年	開講期	単位数	必・選
中国語Ⅱ	平成23年度	川西 笑華 孫 婉芬	5	後期	学修単位 1	選

[授業のねらい] 中国語Ⅰに引き続き、基本的文型と文法事項を習得し、簡単な日常会話ができることを目指す。あわせて中国の文化、社会事情を紹介することにより中国語に対する理解をより深める。

[授業の内容] 全ての週の内容は、学習・教育目標 (A) <視野> および JABEE 基準 1(1)(a)の項目に相当する。

第1週 第4課 所在の“在”と存在の“有” 選択疑問文
 第2週 第4課 練習 会話
 第3週 第5課 助動詞—可能 願望 義務 連動文
 第4週 第5課 練習 会話
 第5週 第6課 進行と完了 二重目的語をとる動詞
 前置詞“給”
 第6週 第6課 練習 会話
 第7週 第7課 経験 比較 前置詞“在”“離”“從～到”
 第8週 後期中間試験

第9週 第7課 練習 会話
 第10週 第8課 状態の持続 様態の描写(様態補語)
 第11週 第8課 練習 会話
 第12週 第9課 方向・結果の複合動詞(方向補語 結果補語) “在”前置詞“把”
 第13週 第9課 練習 会話
 第14週 第10課 “快要～了” “是～的”
 第15週 第10課 練習 会話

[この授業で習得する「知識・能力」]

- 1 所在の“在”と存在の“有”が理解でき、運用できる。
- 2 助動詞“能”“会”が理解でき、運用できる。
- 3 進行、完了、持続などのアスペクト表現が理解でき、運用できる。

- 4 比較、経験の表現が理解でき、運用できる。
- 5 基本的な単語(漢字)を見て発音することができる。
- 6 簡単な会話の聞き取りができる。

[この授業の達成目標]

各文法事項を理解し運用でき、中国語で基本的な日常会話ができる。

[達成目標の評価方法と評価基準]

[この授業で習得する「知識・能力」]1～6の習得の度合を中間試験、期末試験、口答試験により評価する。各項目の重みは同じである。試験問題のレベルは、100点法により60点以上の得点を取得した場合に目標を達成したことが確認できるように設定する。

[注意事項] 教科書付属のCDを繰り返し聞き、発音練習をすること。

[あらかじめ要求される基礎知識の範囲] ピンインを見て発音することができる。基本文型(形容詞述語文、動詞述語文、是”と所有の“有”の文)が理解できる。)

[自己学習]

授業で保証する学習時間と、予習・復習(中間試験、定期試験)に必要な標準的な学習時間の総計が、45時間に相当する学習内容である。

教科書：中国語 縁日はとてにぎやか(郁文堂)及び配布プリント

参考書：授業時、随時紹介する。

[学業成績の評価方法および評価基準] 中間・期末の試験結果を80%、口答試験の結果を20%として、これらの平均値を最終評価とする。再試験は原則として行わない。

[単位修得要件] 与えられた課題、提出物を全て提出し、学業成績で60点以上を取得すること。